



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

847 2022年11月6日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所 &fax
3895-0504
荒川区町屋5-3-5

定例法律相談
11月7日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

都が地震に関する地域危険度を発表
防災福祉のまちづくりこそ最優先に



都心南部直下地震の被害想定
冬・夕方(風速8m/sc)
都内合計 荒川区
建物被害 194,431棟 7,123棟
死者 6,148人 253人
負傷者 93,435人 2,300人
避難者 約299万人 約9万人

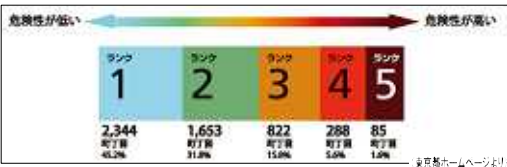
町屋地域総合危険度
順位 総合危険度 危険量
町屋1丁目 100位 4 2.76
2丁目 27位 5 4.63
3丁目 47位 5 3.93
4丁目 2位 5 9.06
5丁目 236位 4 1.68
6丁目 295位 4 1.51
7丁目 535 3 1.10
8丁目 873位 3 0.78

都内の総合危険度ランキング
順位 区・丁目 危険量
1 荒川区 荒川6丁目 9.36
2 荒川区 町屋4丁目 9.06
3 足立区 柳原2丁目 8.63
4 足立区 千住柳町 8.53
5 墨田区 京島2丁目 7.96
6 墨田区 墨田3丁目 7.74
7 足立区 千住大川町 7.22
8 江東区 北砂4丁目 7.11
9 墨田区 押上3丁目 7.1
10 足立区 関原2丁目 6.78

「危険量」として測定、相対的に判定しています。町屋地域は、町屋4丁目が総合危険度5で全都で2番目に危険だとされました(5年前はワースト1位、今回荒川6丁目が1位)。



緊急・重点要望より:防災関連
屋内安全対策(感震ブレイカー、家具転倒防止)
100%へ区の補助制度の抜本拡充を



緊急・重点要望より:防災関連
屋内安全対策(感震ブレイカー、家具転倒防止)
100%へ区の補助制度の抜本拡充を
近年発生した地震だけが原因を調べると、約30~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。また、東日本大震災で起きた火災のうち電気関係が54%に上っています。建物が壊れなくても、通電火災と家具転倒落下で多くの被害が出ています。

まちの話あれこれ
空が広く見えます...都電通りの交差点無電柱化で街の景観改善と安全を実感...
都電通りも電柱類の地中化が終わってすっきりしました。尾久の原防災道路(通称疎開道路)と都電通りの交差点に立つと本当に空が大きく見えます。以前のように電線などがクモの巣のように道路の上を覆つていなくなっています。



命を守る、避難路確保のため
簡易耐震・簡易不燃化工事に区の補助を
地震が起ると耐震性の弱い住宅に住む方が真っ先に犠牲になります。住宅耐震化が急がれます。しかし経済的な様々な理由で耐震化できない住宅に住ま

命を守る、避難路確保のため
簡易耐震・簡易不燃化工事に区の補助を
地震が起ると耐震性の弱い住宅に住む方が真っ先に犠牲になります。住宅耐震化が急がれます。しかし経済的な様々な理由で耐震化できない住宅に住ま
命を守る、避難路確保のため
簡易耐震・簡易不燃化工事に区の補助を
地震が起ると耐震性の弱い住宅に住む方が真っ先に犠牲になります。住宅耐震化が急がれます。しかし経済的な様々な理由で耐震化できない住宅に住ま

町屋地域のまちづくり...

住み慣れた街で安心して住み続けるために 防災・福祉のまちづくりをいっしょに...

町屋5、6丁目のバリアフリー化を急いで

この地域には、都営住宅、高齢者・障害者施設、保育園などが集中しています。歩道上の電柱移設撤去、段差解消など思い切った対策が必要です。また黒枠内は、明白な交通不便地域です。

町屋さくらの復活など交通手段を

町屋さくらに廃止は、多くの住民の移動手段を奪い、以前の生活を維持できなくなっています。一刻も早い復活と移動手段の確保を



町屋公園（町屋7）の整備は、住民参加で

区内で最も一人当たりの公園面積が少ない町屋地域です。今回町屋7丁目公園と尾竹橋公園と合わせて都市計画公園用地と一体で整備します。まだ事業化は先ですが、区民の声を反映させながら整備を進めてほしいものです。また、公園に通じる道路の整備も今後の課題になってきます。

私たちの住む街がどうなっているか、住み続けるには何が必要かなど、まちづくりについて考えてみたいと思います。町屋地域は、防災が最優先課題ですが、交通不便地域もあり交通手段の確保、バリアフリーも住み続けるために避けて通れません。ぜひみなさんのご意見やご要望などお寄せください。



町屋8丁目都営住宅など交通不便地域

8丁目都営住宅の前を走っていた町屋さくらが廃止されて困っている住民も多くおられます。一番近くの都バスの停留所まで約400m以上、町屋駅までは1キロ近くあります。町屋さくら復活や移動手段の確保は切実です。

団地そば都有地の有効活用は...

この都有地は長く未利用のまま放置されています。公園や高齢者施設用地として活用できないのでしょうか。



町屋2、3、4丁目の防災まちづくり

なんとといっても、住宅の耐震、不燃化、生活道路拡幅など待ったなしの地域です。

この地域にふれあい館の建設を

区は、北村園倉庫跡地をへの建設を検討中。

町屋地域の防災・福祉のまちづくり

不燃化特区だけでなく、町屋1丁目をはじめ危険度の高い地域は多く存在しています。

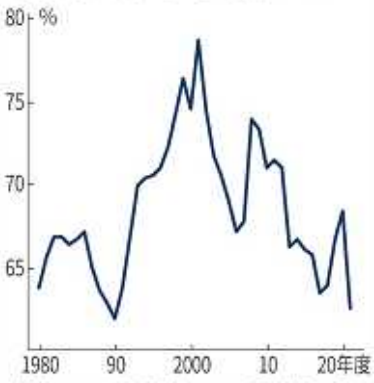
地域内の公有地の確保（公園や防災スポットなど整備）、道路の拡幅、危険なブロック塀の除去、そして何よりも住宅の耐震・不燃化です。そのために、安全住宅に住むための支援を抜本的に強化することが必要です。

また、不燃化特区内では、空き家など除却した跡地が結構目立っていますが、ぜひ公有地として活用してほしいものです。



今週のデータ 労働分配率が低下傾向 中小企業支援と最賃引上げを

労働分配率は低下傾向にある



(注) SMBC日興証券による調整済み試算値

日経新聞に掲載された、法人企業統計でみた労働分配率の変化です。2021年度は57ポイントも下がり62%に。90年代末からの低下傾向は明らか。

これが家計消費を冷や込ませ、経済低迷の根本要因になっています。中小企業への支援を強め最低賃金の抜本引き上げが緊急に必要です。

都営住宅募集～申し込み書配布10日(木)・16日(水)必着

- ・申込書配布...11月10日(木)まで。場所は区役所1階総合案内・ふれあい館・区民事務所など。
- ・申込締切...16日(水)までに渋谷郵便局必着。オンライン申請も同日。

区内の募集は、単身可16戸、2人以上36戸、3人以上5戸、4人以上1戸、5人以上3戸。南千住地域では、2人以上22戸、3人以上2戸、5人以上2戸です(病死等での空き室含む)。

このうち、町屋地域では、町屋5丁目、6丁目、8丁目のすべてで募集があります。1～2人=6戸、2人以上=10戸、3人以上=3戸、4人以上=1戸、5人以上=1戸などとなっています。

記入などのお手伝いが必要な方はご連絡ください。